学校番号	219

平成３１年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（男子･女子）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代高等保健体育」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート」改訂版　（大修館書店） 「アクティブスポーツ」総合版　（大修館書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で筋力や持久力などの基本的な身体能力を高めると共に運動技術・技能を習得し、生涯にわたり、運動が継続出来る体力・能力を身につけよう。
・体育授業に主体的・意欲的に取り組み、興味関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を得よう。
・体育授業を通して、規範意識を向上させ、公正で責任にある態度を身につけことを学び、他を尊重できる豊かな人間性の構築を図ろう。

２ 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。 また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を見に付けている。	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	観察 レポート	観察 レポート	観察 実技テスト	観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	選択制体育	オリエンテーション (1)体育理論 (2)選択種目別グループ活動 ・サッカー ・ソフトボール ・ハンドボール ・バドミントン ・ソフトバレーボール ・テニス ・バレーボール ・バスケットボール	○	○	○	○	a:選択性体育の趣旨を理解し、主体的に希望種目を調整決定することができ、 選択種目別にグループ活動を行うことができる b:活動目標や準備や片付け授業の進め方について理解し、担当者が授業計画に沿って活動内容を指示、班ごとに活動を行ことができる。 c:運動やスポーツの技術と技能について、理解したことを活用し、授業計画を毎時間作成し、実践することができる。 :班としての目標および個人としての目標を決め、全体（１６から２０時間）の計画を立案し、実践することができる。 :毎時間の授業ごとに担当者が授業計画し、実践することができる。 d:授業終了後、担当者を中心に反省・感想、次時への課題を話し合い、計画書に記入し提出することができる。 :全体活動終了後に、班としての目標および個人の目標に対しての自己点検を行い、記入し提出することができる。	観察 レポート
二学期	水泳	背泳 基本動作 ストローク、キック、、コンビネーション、 スタート練習 泳法ルール 記録計測方法	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、観察の方法を理解している	観察 レポート 実技テスト

	選択制体育	オリエンテーション (1)体育理論 (2)選択種目別グループ活動 ・サッカー ・ソフトボール ・ハンドボール ・バドミントン ・ソフトバレーボール ・テニス ・バレーボール ・バスケットボール	○	○	○	○	a:選択性体育の趣旨を理解し、主体的に希望種目を調整決定することができ、 選択種目別にグループ活動を行うことができる b:活動目標や準備や片付け授業の進め方について理解し、担当者が授業計画に沿って活動内容を指示、班ごとに活動を行ことができる。 c:運動やスポーツの技術と技能について、理解したことを活用し、授業計画を毎時間作成し、実践することができる。 :班としての目標および個人としての目標を決め、全体（１６から２０時間）の計画を立案し、実践することができる。 :毎時間の授業ごとに担当者が授業計画し、実践することができる。 d:授業終了後、担当者を中心に反省・感想、次時への課題を話し合い、計画書に記入し提出することができる。 :全体活動終了後に、班としての目標および個人の目標に対しての自己点検を行い、記入し提出することができる。	観察 レポート
三学期	選択制体育	選択種目別グループ活動 ・サッカー ・ソフトボール ・ハンドボール ・バドミントン ・ソフトバレーボール ・テニス ・バレーボール ・バスケットボール	○	○	○	○	a:選択性体育の趣旨を理解し、主体的に希望種目を調整決定することができ、 選択種目別にグループ活動を行うことができる b:活動目標や準備や片付け授業の進め方について理解し、実践することができる。 c:運動やスポーツの技術と技能について、理解したことを活用し、実践することができる。 d:授業終了後、全体で反省し次時への課題を話し合う。	観察